

## ノース・ダコタ州：小麦作柄と気象状況

2003年8月26日

2003年8月24日現在：

2週間に渡り高温・好天が続き、小麦の収穫作業が極めて順調に進展した。8月24日に終わる週では、中央地区、東超央地区及び南西地区に降雨があった。1週間の降水量は0.08～1.56インチの幅があった。最高気温は95～102度Fと暑い日々が続いた。土壌水分は減少し続けている。Topsoil及びSubsoil共に、作年並びに過去5年平均より極めて悪い状態となっている。

8月24日現在、硬質春小麦（HRS）の収穫は平年より極めて早く進捗し、全州の80%が収穫された（昨年：45%、平年：59%）。民間機関のサーベーターでは南西地区のHRSの品質は、容積中は昨年より高く59.6～62.51lb/bu（昨年平均：59.51lb/bu）、蛋白質（水分12%ベース）は昨年より低く平均14.81%（昨年：15.57%）であった。品質は良好と言われる。

デュラム小麦の登熟も早く、97%が登熟期後期であり、51%が収穫された。昨年同期での収穫は15%、5年平均では27%である。高温によりデュラム小麦の成熟がプッシュされた。53%が“Good”以上と評価された。

8月1日付けのUSDA小麦生産量予想では、HRSの単位収量は7月1日と同じ数値であったが、デュラム小麦の単位収量は7月1日予想より2bu/acre減少した。乳熟期に入ってから的高温・乾燥が影響したと言える。

土壌水分：

Topsoil

	Very short	Short	Adequate	Surplus
This week (%)	31	45	24	0
Last week (%)	26	48	26	0
Last year (%)	15	35	47	3
Average (%)	9	24	61	6

Subsoil

This week (%)	25	42	32	1
Last week (%)	21	42	37	0
Last year (%)	17	34	47	2
Average (%)	8	22	64	6

Average: 1998～2002年平均

デュラム小麦の進捗状況：

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Turning (%)	97	86	92	90
Combined (%)	51	25	15	27

Milk : 乳熟期, Turning=Turning color:登熟期～枯熟期

次頁へ続く：

HRS 小麦進捗状況 :

	This week	Last week	Last year	5-year avg.
Combined (%)	80	51	45	59

小麦作柄状況 :

	Very Poor	Poor	Fair	Good	Excellent
Durum wheat (%)	2	11	34	47	6
Last week (%)	1	14	36	453	4

Source: North Dakota Agricultural Statistics Service

8月1日付けUSDA春小麦の生産量予想 :

	Harvested Area		Yield			Production		
	1000 Acres		Bushels/Acre			1000 Bushel		
	2002	2003	2002	2003		2001	2002	2003
				June 1	July 1			
Durum	1,950	1,850	25.0	29.0	27.0	54,600	48,750	49,950
H R S	5,900	6,300	28.0	36.0	36.0	234,600	165,200	226,800

2003年産小麦品種 : <http://www.nass.usda.gov/nd/whtvar03.pdf> このページに作付け品種の明細が掲載されています。

当該作柄レポートへのご質問・ご意見は下記宛てにお願い致します。

小川正晃: E-mail [ogawa.max@omicnet.com](mailto:ogawa.max@omicnet.com)